



## 出張子ども議会【質問・答弁内容】

町内の小学生が、普段の生活の中で気になっていることや改善してもらいたい点を町長に直接質問する「出張子ども議会」が、11月22日(月)に鏡石二小、29日(月)に鏡石一小で開かれました。

一小、二小それぞれ5人の子ども議員が登壇し、町の安心安全や環境問題などについて尋ね、遠藤栄作町長が一つ一つ答弁しました。また、古川文雄町議会議長に議長を務めていただき、子ども議員たちは緊張しながらも堂々と発言・質問をしていました。

ここでは、子ども議員たちの質問と、遠藤町長の答弁内容を紹介します。



鏡石二小・1番議員  
おもかわ たま お  
**面川 瑤青 さん**

**Q** 二小の校舎を新しく建て替えてほしいです。教室の床は古く、机がグラグラ動いて勉強に集中しにくいです。二小の学区には新しい家が建ち、人も増えているので教室が足りなくなるかもしれません。

**A** 二小の校舎については、今年と来年度の2か年で部分改修工事を進めることとしました。照明を新しくし、床、壁、天井の張り替えも行っていますので楽しみにしてください。教室については現在、空き教室を総合学習室などとして活用していますが、それを普通教室に戻して活用することになります。



鏡石一小・5番議員  
つのだ ひなた  
**角田 陽向 君**

**Q** 鏡石町ではふるさと納税で昨年どれくらいのお金が集まり、どのようなことに使われたのでしょうか。また、返礼品にはどのようなものがあるのでしょうか。

**A** 令和2年度のふるさと納税額は1555万6000円でした。このお金は「ふるさと鏡石ありがとう事業」として、学校校舎改築、花壇の整備、田んぼアート事業に関するものなど、まちづくり関係の取り組みに使われています。返礼品については町特産品の桃、梨、リンゴ、イチゴ、米、岩瀬牧場のヨーグルトなど約40種類を揃えています。



鏡石二小・3番議員  
すずき りょうたろう  
**鈴木 涼太郎 君**

**Q** どうして鏡石町には高校が一つしかないのでしょうか。町外への通学で交通費がかかるためにやりたい勉強をあきらめたり、町外で就職して町に戻ってこない人が出たりするのではないのでしょうか。

**A** 県内のどの場所に県立高校を設置するかについては、福島県の教育委員会が決めています。また、私立高校は県知事の許可を必要とし、現在、鏡石町には新たに高校を設置する計画はありません。経済的に通学が困難な場合は、お金を貸す町独自の制度があります。町では、今後もみなさんが町外の高校にも安心して通えるように取り組んでいきます。



鏡石二小・2番議員  
**サラザール サマンタ さん**

**Q** 英語や他の言語を話すことができる先生がいつも学校にいてほしいです。そうすればいつでも相談できて、今よりも早く日本語を学び、鏡石の生活に慣れることができると思います。

**A** 外国から日本に来られたお友達が話す言語を使える先生がいれば一番いいのですが、そもそも日本語以外を話せる先生が少ないこともあり、なかなか難しいのが現状です。これからは国際化が進み、複数の言語を話せて理解できることが重要となりますので、まずは今学習している英語をみんなができるようになって、役立ててほしいと考えています。



鏡石一小・2番議員  
かたぎり きよと  
**片桐 清人 君**

**Q** 町の中のいたるところに植物を置いてほしいと思っています。二酸化炭素が減って酸素が増え、心もリフレッシュできます。世界中で問題になっている地球温暖化も止められるかもしれません。

**A** 町ではこれまでにツル性の植物を窓に這わせてつくる「緑のカーテン」を実施し、現在は休耕の田畑を利用した「かがみいし油田計画(菜の花栽培)」に取り組んでいます。また、今年から新たにレンゲの栽培も始めました。幹線道路へのプランターの設置に加え、身近で簡単にできる緑を増やす取り組みを皆さんと一緒に進めていければと考えています。



鏡石一小・1番議員  
おもかわ おとね  
**面川 音寧 さん**

**Q** 小学校前の交差点を通るたびに、ハトやカラスの糞の臭い、そこに集まる無数のハエに悩まされています。糞を取り除いて臭わない交差点にしてください。

**A** 全国でも鳥の糞の被害には大変困っていて、色々な対応しているようですが、効果的な方法はないようです。町ではこれまで水で洗い流してきましたが、再度担当課に指示し、できる限り早めに清掃したいと思っています。今後もカラスなどを追い払う方法について情報収集し、きれいな町にするための対策を考えていきたいと思っています。



鏡石二小・5番議員  
わたなべ ともや  
**渡邊 朋矢 君**

**Q** 遊水地の計画で引っ越さなければならない人のために土地を確保してください。僕たち家族は2年前の水害で被害に遭いました。本当は引っ越したくありませんが、周りの人と一緒に決めたいです。

**A** 渡邊議員が住んでいる地区は、堤防より低いところにあることから、命と財産を守るためにも、将来にわたって安全な場所(高台)に移っていただくことが大切であると考えています。高台移転については、できる限り集団で、より安全で、より快適に住めるように、地域の皆さんと町と一緒に考えていくこととしています。



鏡石二小・4番議員  
よしだ なおき  
**吉田 直樹 君**

**Q** 通学路の歩道を広くしてほしいです。雨の日は道が狭くて車の水しぶきをよけられなかったり、土砂があってどうしても車道に出なければ通れないところもあります。危険なのでぜひお願いします。

**A** ご質問の通学路は二小と成田地区を結ぶ道路かと思いますが、この道路は福島県が管理している道路(県道288号線)となります。通学路の合同点検の時や、県と町との「まちづくり意見交換会」という会議の中で歩道を広げることや安全対策について要望していますが、交通事故を予防するため今後さらに強く要望していきたいと思っています。



鏡石一小・4番議員  
まかべ そう  
**真壁 蒼 君**

**Q** 県内にはアウトレットなどの施設がありません。鏡石町には大きな土地があるので、そこに作ってはいかがでしょうか。観光客もたくさん来てくれると思います。

**A** アウトレットを誘致することで観光客は増えるかもしれませんが、町内の商店街は売り上げが落ち込み、店を閉じなければならなくなる恐れがあります。また、アウトレットを作る人も、鏡石町なら売り上げが期待できると確信を持った中で施設をつくるか判断します。町とアウトレットを作る人が同じ考えになったとき、施設はできると思います。



鏡石一小・3番議員  
おおかわら かえで  
**大河原 桜 さん**

**Q** 私が通学路として歩いている不時沼周辺の石が敷き詰められた歩道ですが、よく見ると石が欠けていて、転んでけがをした人を何人か見ました。道の整備を検討してもらいたいです。

**A** 通学路の安全確認については、定期的に学校の先生や、道路を管理している国、県、町の職員、警察署が合同で点検を行っていますが、皆さんも見て危険だと感じたところがあれば、先生やお父さんお母さんを通じて教えてください。また、今回の大河原議員の質問を受け、ご指摘のあった歩道は緊急的な補修をさせていただきました。